

ウォークラリー

1 ウォークラリーとは

連続したコマ図を頼りに、グループごとに指定されたコースを歩き、課題を解決したり、景色を眺めたりして歩くゲームです。

2 ねらい

- ・連続したコマ図だけを頼りに進むことで、決断力や判断力を育てる。また、グループでまとまって歩くことを通して協調性を高める。
- ・街中を注意深く観察しながら歩くことで、普段は気づかない街角の風景を発見する。

3 計画・実施上の留意点

(1) 計画上の留意点（ウォークラリー実施計画表を御活用ください。）

- ・研修時間、班の数、年齢層等を考えてコースを決定する。
- ・1グループの人数は6人以下が望ましい。
- ・コマ図の見方について、活動参加者に事前に指導しておく。
- ・団体指導者の役割分担をあらかじめ決める。(③と④については、団体の判断で設けなくてもよい。)

①本部待機 ②巡回 ③帯同 ④チェックポイント

※団体指導者は「サイクリング用自転車」を使用し移動することができる。

(2) 活動の流れ

- ① 団体指導者は、午前の活動の場合は午前8時35分、午後の活動の場合は午後0時30分に事務室で担当所員と実施判断を行う。
- ② 道具（コマ図、バインダー、解答用紙、地図〔指導者用〕、解答用紙〔指導者用〕）を事務室にて受け取る。
- ③ 団体指導者は、研修生へルール・注意事項等の説明をする。
- ④ 5分～10分ほど時間差をつけて、グループごとに出発する。
- ⑤ 巡回担当の団体指導者は巡回をする。本部待機担当の団体指導者は本所に待機し、ゴールする研修生を玄関前等で待つ。
- ⑥ 全グループがゴールした後は、団体指導者が成績発表、講評等の事後指導を行う。

(3) 活動上の注意点

① 緊急時の対応、連絡方法について

- ・商店や近所の方に学校名と氏名を伝えて電話を借り、コマ図にある「焼津青少年の家」に連絡する。または、団体指導者の携帯電話番号を事前に教えておき、そこに連絡する。
- ・急な大雨、あるいは雷が鳴ったら、近くの商店や建物に避難させる。
- ・大きな地震が起きた時に、津波避難施設や津波避難タワーに避難することを事前指導しておく。

② 歩き方について

- ・グループのメンバーがバラバラになることがないように、必ず一緒に行動するよう指導する。
- ・交通事故に注意させる。絶対に走らないこと、飛び出さないこと、広がって歩かないこと、横断歩道を利用することなどを徹底させる。
- ・一般道を歩くので、公衆道徳を守り近隣の方の迷惑になるようなことをしない、公共施設や樹木を傷つけないなどを徹底させる。
- ・歩きながらコマ図は見ない。コマ図は、安全な場所で必ず立ち止まって見るように指導する。

4 方法とルール

- コマ図の指示する方向に進み、次のコマ図の地点を探す。
- コマ図とコマ図の間にも分岐がある。距離も一定ではないが、次のコマ図の地点までは無視して進む。
- 課題のあるコースでは、協力して課題を解決しながら歩く。
- 規定時間内に歩く。（規定時間は下記の所要時間、距離を参考に団体指導者が設定する。）
- 出発はグループごと時間差をつける。（グループ数に合わせて間隔を調整する。）

5 各コースの距離と所要時間

コース名	距離 [k m]	所要時間 [時間] ※目安	コース難易度	問題の設定 の有無	ポイント 箇所数
あ じ - いわし	3.0	1.0 ~ 1.5	わかりやすい。 広い道を多く 通る。	大漁ハイク のポイント を使用	5
かつお - かもめ	4.0	1.5 ~ 2.0			5
さ ば - まだい					
まぐろ - くじら	6.5	2.5			9
かじき - いるか					
A - B	2.5	1.0 ~ 1.5	やや難しい。 細い路地を多 く通る。	コースの途中に 問題の設定あり	
C - D					
G - H	6.0	2.0 ~ 2.5			
I - J	1.5	0.5 ~ 1.0		問題の設定なし	

※ 所要時間はあくまでも目安です。研修生の実態により若干の違いがあります。

サンプルとして、「解答用紙」「コマ図」「指導者用マップ」を載せてありますので、研修生へ事前の指導にお使いください。

ウォークラリー解答用紙

<〇〇〇>コース

グループ名

スタート 時 分

コマ番号	ポイント番号	魚の名前	ポイント発見のためのヒント	得点
4	⑤		サッカーグラウンド北側のガードフェンス (うっかり通りすぎ注意)	
9	⑦		西側の公園入口近くの電子基準点(大きなマイクみたいな形の機械)のそば	
12	⑥		西門のすぐ横	
19	③		大きな石碑の近く	
27	①		納札所(古いお札を納める所)	

ゴール 時 分

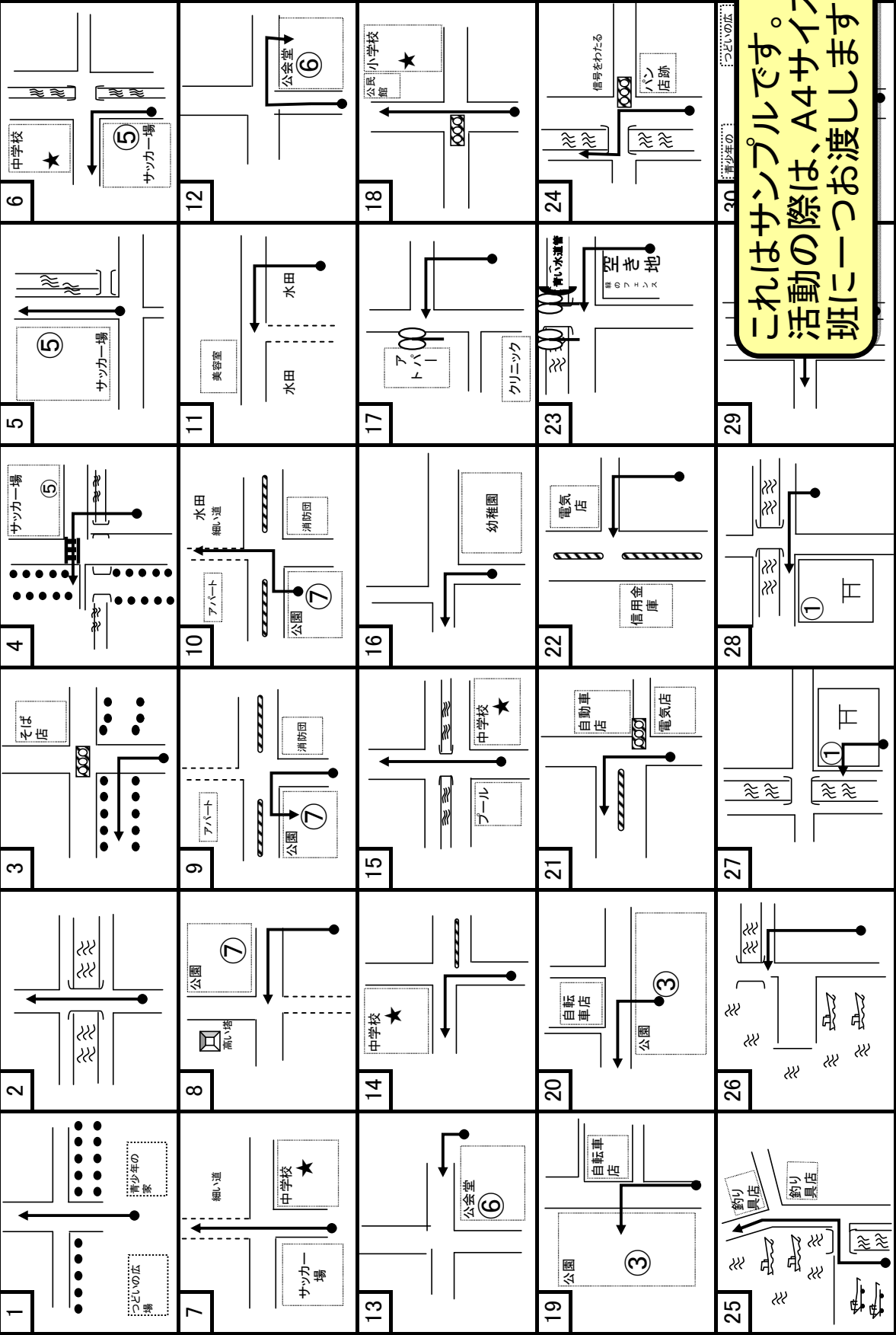
- ① まわりをよく見て、そのコマと同じ場所に着いたら、矢印の指示に従って進みます。
- ② コマとコマの間は、曲がったりしないで、その道をまっすぐ進みます。
- ③ コマとコマの間は同じではありません。すぐ近いときも、ものすごく長いときもあります。
- ④ 分からなくなったら、まちがいない前のコマの場所までもどって、やり直します。
- ⑤ コマ図では道の真ん中を示していますが、道路は右側、または歩道を必ず歩きます。
- ⑥ 交通ルールを必ず守りましょう。道路を渡る時は信号があれば信号を守り、横断歩道を渡ります。
- ⑦ 急な飛び出しや大声で話したりすることは、まわりの人に迷惑になります。
- ⑧ こまったことが起きたら、近くにいる大人の人にたのんで「焼津青少年の家」に電話をします。
- ⑨ 地震が起きたときには、すぐに近くの3階建て以上の高い建物に避難します。
コマ図の中の★印がひなん場所です。まわりの大人と一緒に避難しましょう。

これはサンプルです。
 活動の際は、A4サイズの下紙を
 班に一つお渡しします。

静岡県立焼津青少年の家 TEL054-624-4675

ウォークラリー ○○コース 焼津青少年の家 054-624-4675
 チェック⑤⑦⑥③①には、大漁ポイントがあります。木札を見つけて、うらに書いてある魚の名
 ポイント前を写して来ましょう。

● 今いる場所 H 神社 信号のある交差点 カーブミラー
 → 進む方向 ★ 松並木 ひなん場所 川、用水路



これはサンプルです。活動の際は、A4サイズの用紙を
 班に一つお渡しします。

ウォークラリー ○○○ (4 km) 指導者用

チェックポイント (大漁ポイント) 5カ所

- 交通ルールを守りましょう。道路は右側または歩道を歩きます。横断歩道を渡ります。
- 飛び出しをしないように気をつけましょう。車には十分気をつけましょう。
- 地震が起きたら、★印の場所にひなんしましょう。



静岡県立焼津青少年の家

TEL054-624-4675

ウォークラリー実施計画表

静岡県立焼津青少年の家

団体名				
担当者氏名				
実施予定日	年 月 日 ()			
参加者人数	研修生	人 () グループ	団体指導者	人
スタート時刻※	一番最初のグループ	:	一番最後のグループ	:

※ 前後のグループでは、5～10分ほど時間差をつけてスタートとなります。

1 実施予定コース

コース名	グループ数 等
例 かつお	例 4グループ 1班、3班、5班、7班
例 かもめ	例 4グループ 2班、4班、6班、8班

2 団体指導者の配置 (人数や配置は、各団体で決めてください。)

役割	団体指導者氏名		
①本部待機			
②巡回 所の自転車を利用することが出来ます。			
③帯同 団体の判断で設けなくても構いません。			
④チェックポイント 団体の判断で設けなくても構いません。			

3 安全体制チェックポイント (確認・実施したものには○をつけてください)

下見を行った。	
コマ図の見方について、研修生に事前に指導した。	
事故や怪我、迷ったときなどの緊急時の対応方法を決め、事前に指導した。	
活動中の歩き方、交通事故防止のための安全指導を行った。	
団体指導者間の役割分担が明確になっている。	

※ **未確認、未実施の項目については、当日までに必ず確認、実施してください。**

この計画表は団体で御利用ください。(青少年の家に提出する必要はありません。)